

一般質問通告書

受領日時 令和6年6月3日 (午前)・午後 9時 52分 5番 氏名 佐沢 由佳子

質問項目	質問の要旨
1 水害のその後について	<p>(1) 浄水場について、令和5年7月の大雨と同じ水位の水が来た時に現在の状況で正常に稼働可能か。止水板を設置すると聞いているが対策は十分なのか。</p> <p>(2) 浄水場は町民のライフラインとして重要であり、築61年も経っている浄水場の改築や移設など先送りせず本格的な検討、計画を進めるべきではないか。平成21年4月の「五城目町地域水道ビジョン」に書かれている内容と令和6年3月「五城目水道ビジョン」に全く同じ内容『特に五城目浄・配水場は、創設当初である昭和35年、昭和38年に増設した設備を現在も利用しているため、施設の老朽化が顕著となっています。』と記載されている。平成21年当初でも課題の優先順位が高いと書かれていたが、この間15年計画が進んでいなかったということでしょうか。今後のスケジュールと町の考えについて教えていただきたい。</p> <p>(3) 内水氾濫について、この度の全員協議会において『業者をお願いして調査を始める。住民についても説明会や意見を聞く場を設ける』とのお話がありました。具体的な今後の予定は。現在決まっていることがあれば教えていただきたい。</p>
2 公共交通の空白地帯解消と利用者のニーズの把握を	<p>(1) 「五城目町過疎地地域持続的発展計画」には、公共交通について『公共交通の空白地の解消とともに利用者のニーズに沿った効果的で効率的な公共交通網の構築を目指し継続的に検討検証を進める』とある。乗り合いタクシーやオンデマンド型タクシーの対象地域でない五城目町中心部について『免許証の返納、自転車に乗れない冬場などの移動に困っている、バスターミナルまで遠い』などの声もあり、今後益々需要は増えると予想される。今後の町中心部の乗り合いタクシー等の運行予定はあるのか。計画や考えは。</p> <p>(2) 『中学生の部活終了時間が18時30分ごろで、乗り合いタクシーは17時台五城目町内出発の便が最終、1</p>

	<p>8時台に出発する便があれば大変助かる。共働きで困る時がある』こんな声もある。利用者のニーズの把握をするためにどのような方法を取っているのか。もしくは、これからどのような方法でニーズを把握していく予定か。利用状況とニーズの把握により更新していくタイミングは。</p>
<p>3 各地区公民館を利用した新たなコミュニティ作りを</p>	<p>(1) 五城目町には、各地区に立派な公民館があり防災のための Wi-Fi も整備されている。「五城目町過疎地域持続的発展計画」にも『地域における生きがいの創出を図るため地区公民館の機能強化を推進する』と書かれており各地区公民館を活動拠点に町民同士をつなぐコーディネーター的な役割を担う人材を配置し、地区公民館がより集まりやすい場所になることにより生涯学習はもちろん、防災、公共交通、買い物弱者対策、介護予防、再生可能エネルギー活用、Wi-Fi の活用によりあらゆる利便性の向上、地域間交流を図るなど複合的な拠点になり得ると考える。町民が必要な拠点であれば維持管理費も有効なものになると考える。町としての考えは。</p> <p>(2) 各地区公民館を活動拠点に町民同士をつなぐコーディネーター的な役割を担う人材として、地域おこし協力隊や集落支援員などの制度を活用してはどうか。新たな発想で活発な公民館活用と地区の特徴を生かした新しいコミュニティ作りを推進してはどうか。</p>
<p>4 商店街の空き店舗の活用とマッチングについて</p>	<p>(1) シャッターが閉まっている商店が多く、これから辞めるというところも増えてきた。一方、町内外から店舗を賃貸や購入して出店する人も増えている。店舗を貸したいという話や借りたいけどいい物件がないか探しているという話も聞こえてくるが、そのニーズを集約する場がない。空き店舗や空きスペースを持っている方の意向調査や情報を集約、それを活用したいと考える借りたい方とのマッチング、ものづくり支援事業補助金や事業所改修事業補助金などの相談が一括で出来る窓口があれば商店街再生に効果があるのではないかと考える。当局の考えは。</p>